

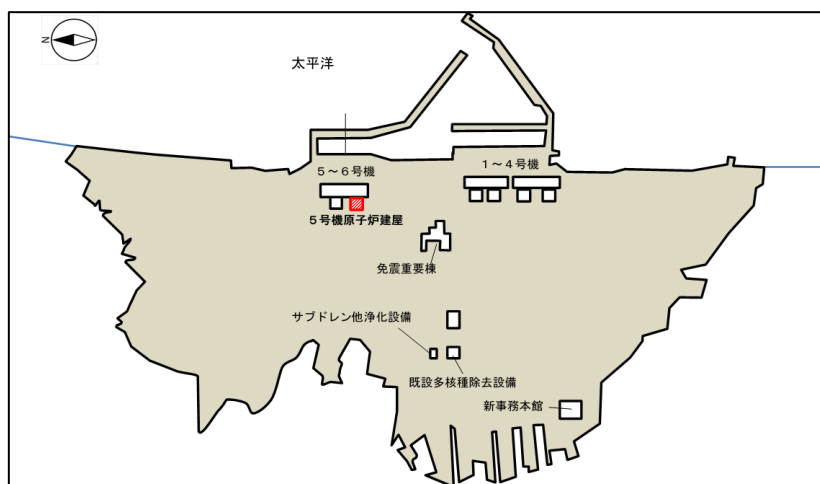
## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日  
令和6年7月10日（水）
- 2 確認箇所  
5号機原子炉建屋（図1）
- 3 確認項目  
原子炉格納容器貫通孔の状況
- 4 確認結果の概要

原子炉格納容器（PCV）の基本構造が2号機に類似する5号機において、燃料デブリの試験取り出し時においてアクセスルートとなるX-6ペネトレーション※1（以下「X-6ペネ」という。）の状況を確認した。【前回確認日：[令和5年12月15日](#)】

- ・PCV外側面において、X-6ペネの状況を確認した。X-6ペネの扉は開放されており、ロープで固定されていた。（写真1）
- ・X-6ペネ内部にはケーブル類が収納されており、上部の隙間からPCV内部を一部見通すことができた。（写真2）

※1 ペネトレーション：格納容器の側面にある貫通部。テレスコピック式装置を使った2号機燃料デブリの試験的取り出しは、このX-6ペネからPCV底部にアクセスすることが計画されている。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)X-6ペネ



(写真2)X-6ペネ内部

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。